



東亜ディーケーケー株式会社  
平成28年3月期第1四半期決算資料  
(東証1部:6848)

平成27年7月

# 平成28年3月期第1四半期決算サマリー



- 新たな3ヶ年中期経営計画「HYBRID経営計画」を4月からスタート
- 売上高は海外及び医療関連機器が堅調に推移・善戦し増収
- 収益は円安でコスト増と海外戦略活動費集中で若干減益
- 単月黒字化**70ヶ月**連続記録更新中(平成21年9月から5年10ヶ月)

(単位:百万円)

	H26.1Q 実績	H27.1Q 実績	前年同期比増減	
			金額	%
売上高	2,914	2,999	84	2.9
営業利益	132	124	△7	△6.0
経常利益	142	136	△5	△3.9
四半期純利益	37	35	△2	△5.9

## 計測機器事業

売上高**2,932**百万円(**2.6%増**)、セグメント利益**278**百万円(**1.2%減**)

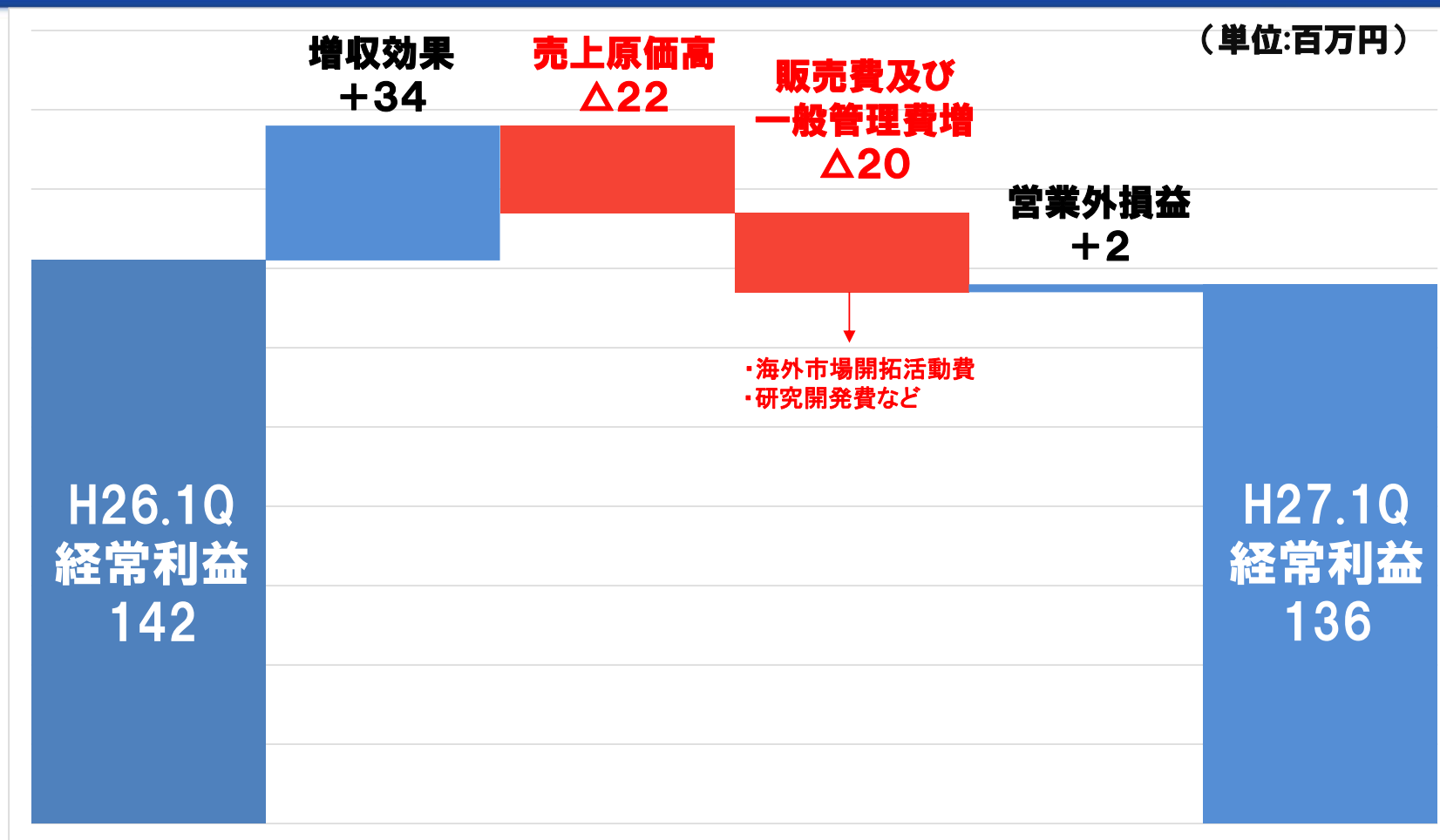
- 国内は、設備投資の改善が見られる中、基本プロセス分析計及び保守メンテナンスが堅調に推移、医療用関連機器は新製品の投入で需要回復し増収
- 海外は、前期に引き続き中国向け環境用水質計が好調に推移、韓国向け上下水道用分析計も回復し増収
- 利益面は、円安で輸入製品の仕入コスト高と戦略的海外市場開拓活動費(海外展示会、巡回出張、補強人員採用費)が増加し若干減益

## 不動産賃貸事業

売上高**66**百万円(**15.9%増**)、セグメント利益**40**百万円(**37.8%増**)

- 本社隣接の賃貸ビルが満室となり増収・増益

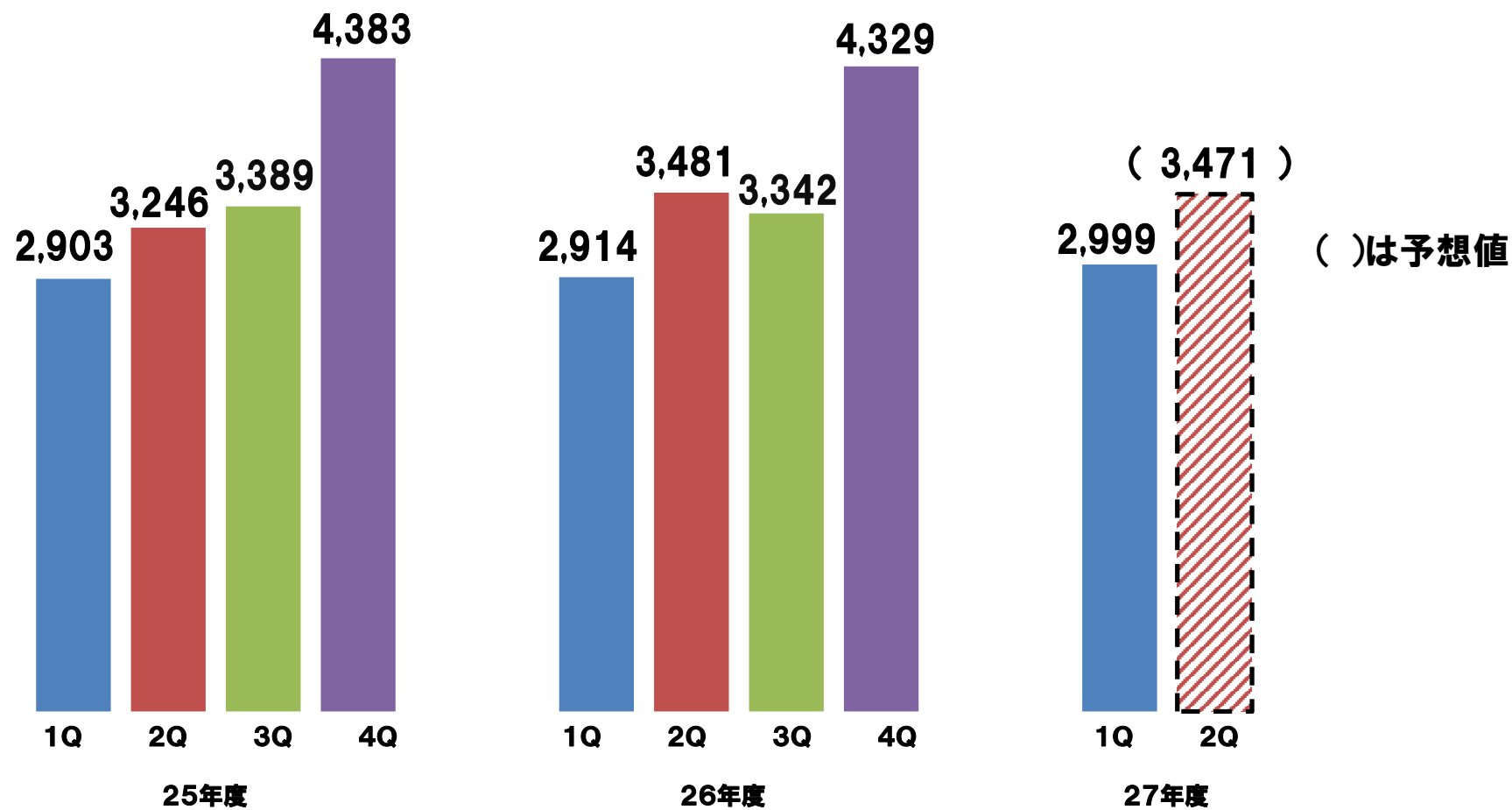
# 第1四半期経常利益増減分析



# 四半期別経営成績（売上高）



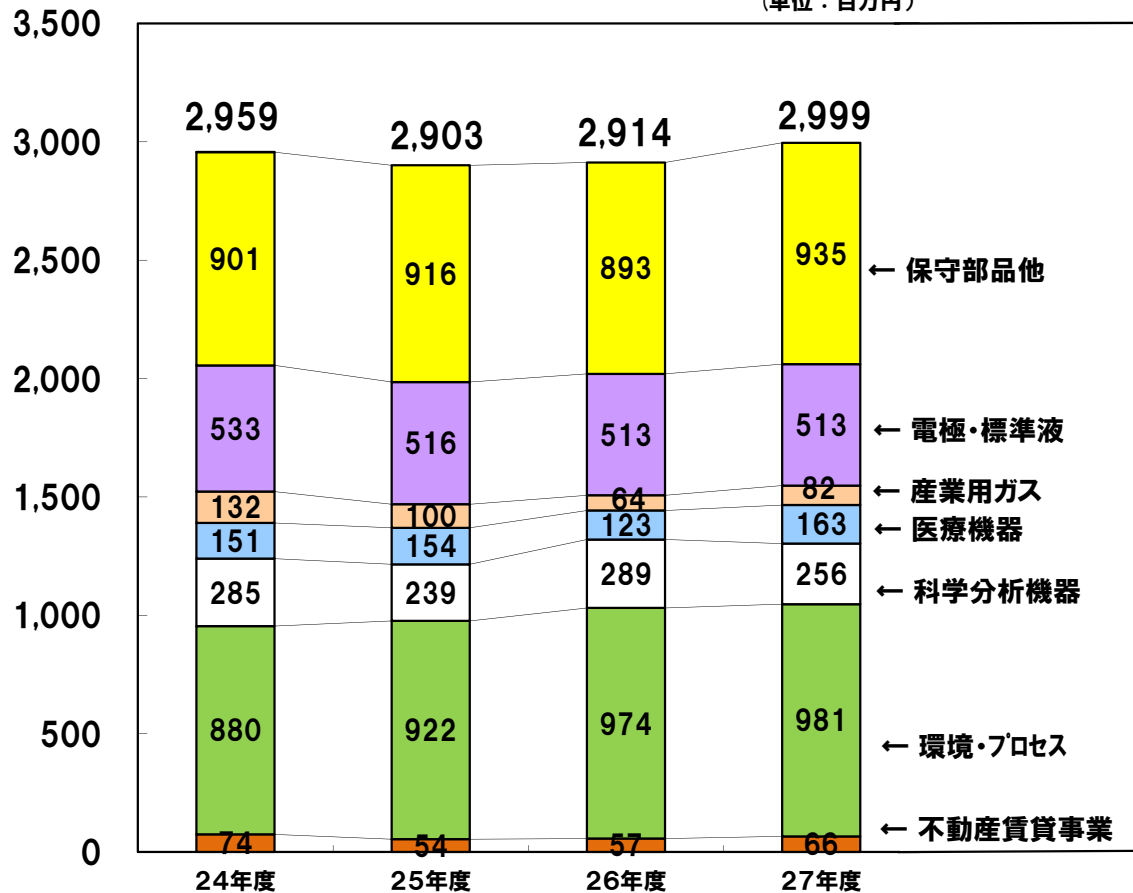
（単位:百万円）



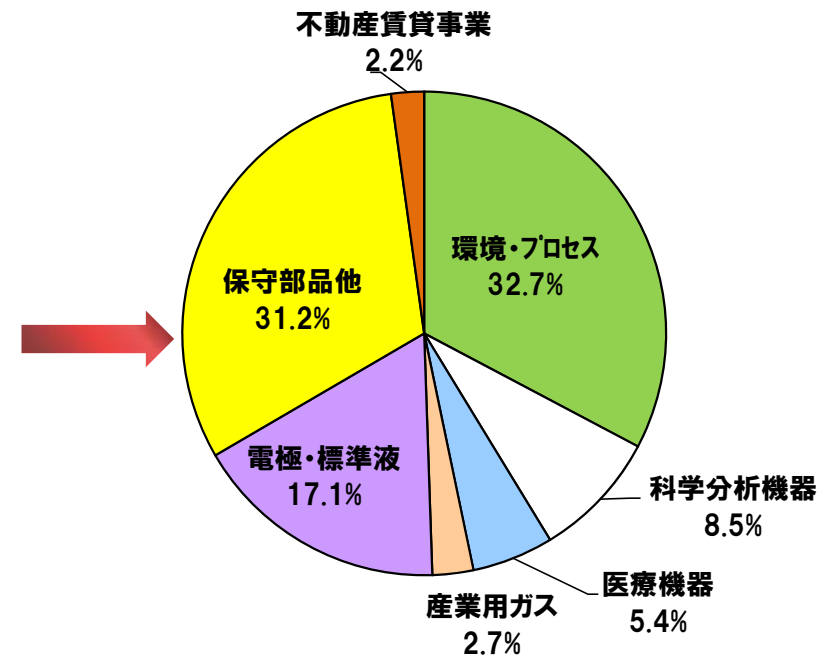
# 第1四半期売上高推移と構成比

## 売上高推移

(単位：百万円)



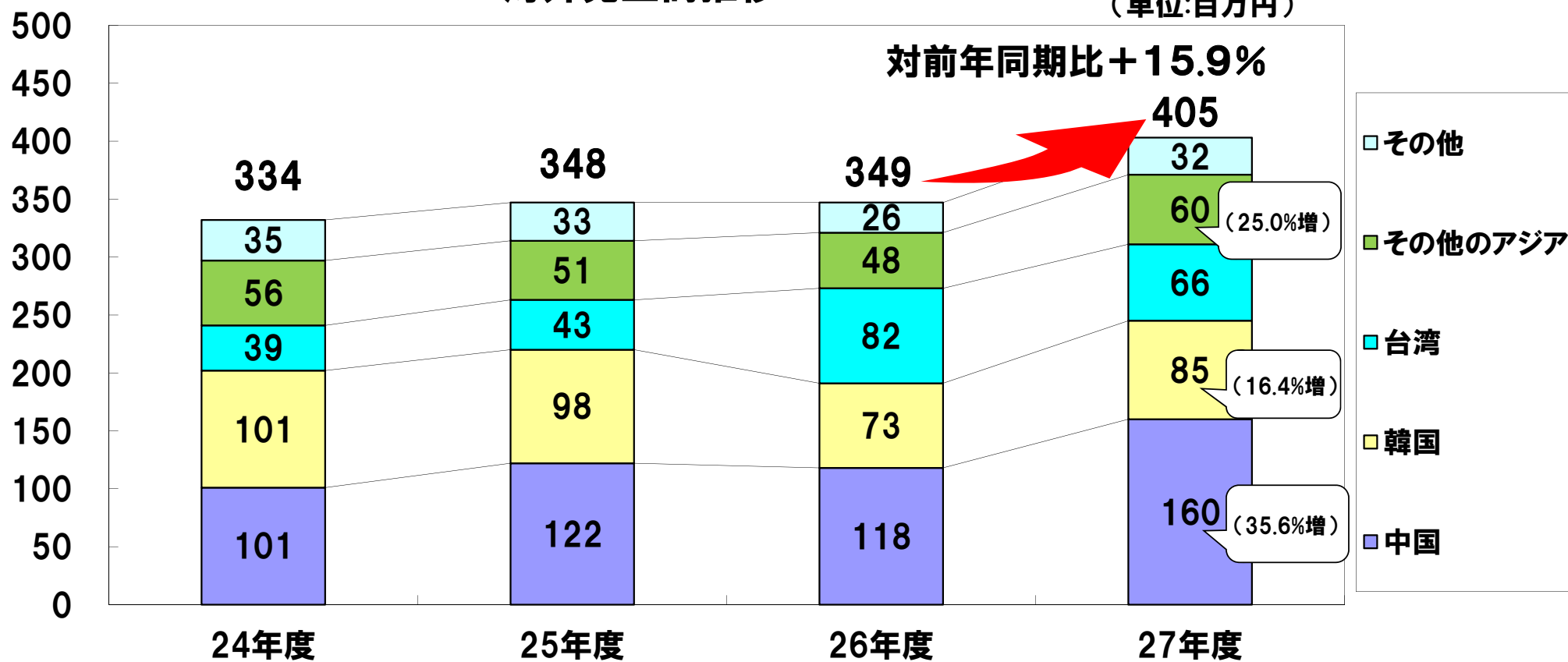
## 売上高構成比



# 第1四半期海外売上高推移

## 海外売上高推移

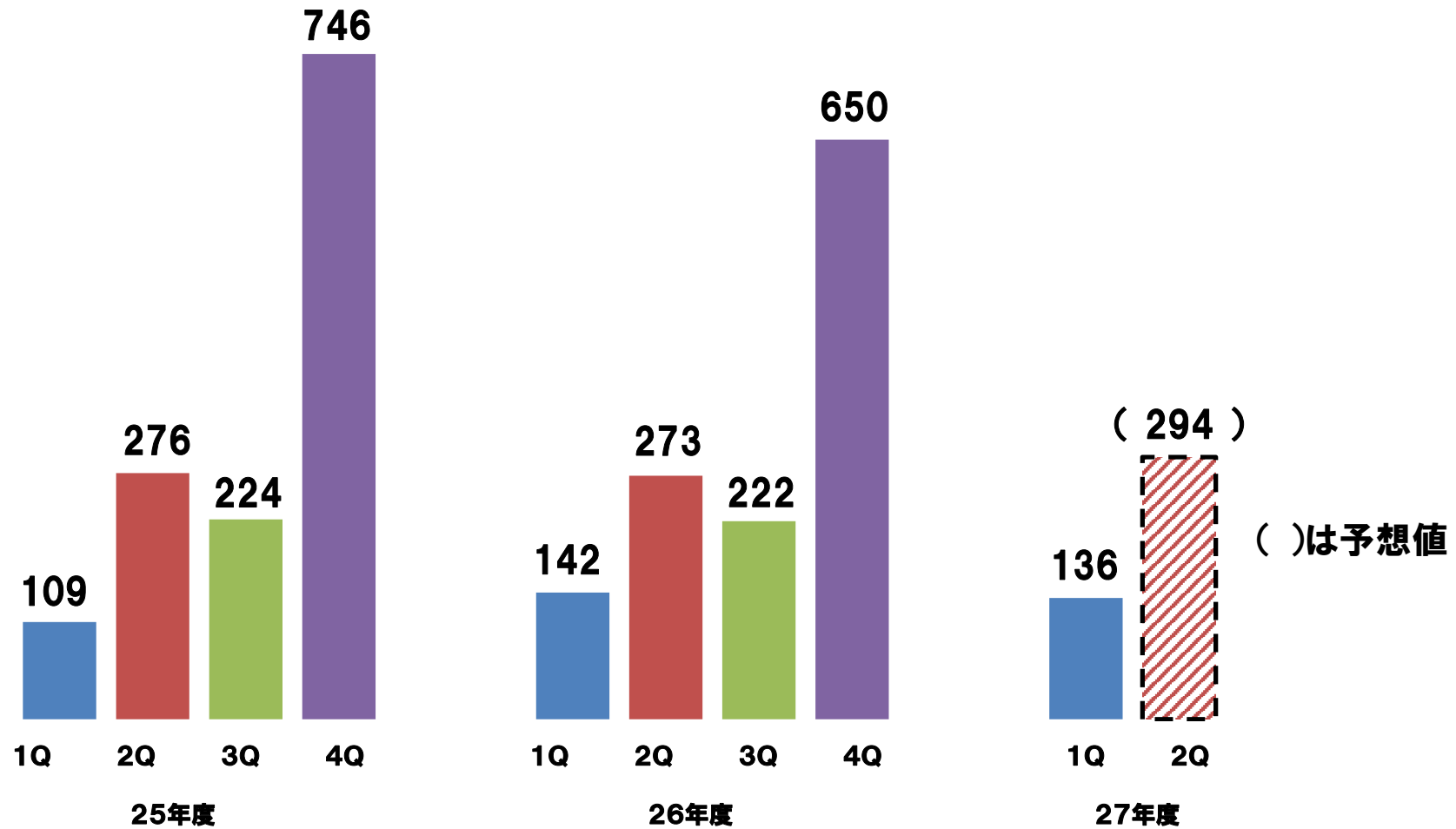
(単位:百万円)



# 四半期別経営成績（経常利益）



（単位:百万円）





# 貸借対照表及び損益計算書(要約)



## 貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 27年3月末	当期 27年6月末	増減額
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	12,539	12,262	△ 277
現金及び預金	4,664	4,647	△ 16
受取手形及び売掛金	5,214	4,538	△ 675
たな卸資産	1,979	2,139	160
その他の流動資産	681	936	254
固定資産	5,680	5,659	△ 20
有形固定資産	3,219	3,155	△ 63
無形固定資産	478	444	△ 33
投資その他の資産	1,982	2,059	76
資産合計	18,220	17,921	△ 298
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	3,037	2,842	△ 195
支払手形及び買掛金	1,019	997	△ 21
短期借入金	472	666	194
その他の流動負債	1,545	1,178	△ 367
固定負債	3,143	3,142	△ 1
長期借入金	84	66	△ 17
退職給付に係る負債	2,322	2,335	12
その他の固定負債	737	740	3
負債合計	6,181	5,984	△ 196
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	11,289	11,107	△ 182
その他の包括利益累計額	748	829	80
純資産合計	12,038	11,937	△ 101
負債純資産合計	18,220	17,921	△ 298

## 損益計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期 26年4月1日 26年6月30日	当第1四半期 27年4月1日 27年6月30日	増減額 (増減率)
売上高	2,914	2,999	84
売上原価	1,762	1,834	72
(売上原価率)	(60.5%)	(61.2%)	(0.7%)
売上総利益	1,152	1,164	12
販売費及び一般管理費	1,020	1,040	20
(販管費率)	(35.0%)	(34.7%)	(△0.3%)
営業利益	132	124	△ 7
(営業利益率)	(4.5%)	(4.1%)	(△0.4%)
営業外収益	16	17	1
営業外費用	5	5	0
経常利益	142	136	△ 5
(経常利益率)	(4.9%)	(4.6%)	(△0.3%)
特別損失	0	※3	3
税金等調整前四半期純利益	142	133	△ 8
法人税等	104	97	△ 6
四半期純利益	37	35	△ 2

※ 特別損失3百万円は筑波営業所閉鎖に伴う減損損失。

# 平成28年3月期業績予想(修正なし)



- ・ 主力の環境・プロセス分析機器は、国内では環境省第5次水質総量規制時に導入した機器の更新需要が本格化するとともに、海外では中国を始めとするアジアを中心とした環境保全意識の高まりに伴う計測機器需要の増加が期待されている。また、経営の新たな重点部門として位置づけた医療関連機器分野の需要回復も見込んでいる。
- ・ 当期連結業績予想は概ね計画通り推移しており、現時点では平成27年5月8日に公表の第2四半期及び通期の業績予想の修正はなし。

(単位:百万円)

	H27.3 実績	H28.3 予想	増減	
			金額	%
売上高	14,066	14,400	334	2.4
営業利益	1,265	1,300	35	2.8
経常利益	1,287	1,320	33	2.5
当期純利益	759	900	141	18.5

## (1) 新製品紹介

### A剤／B剤自動溶解装置のモデル一新

本装置は透析用の粉末薬剤(人工腎臓用粉末型透析用剤A剤／B剤)を溶解し、透析液A原液・B原液を供給できる濃度に調整するための溶解装置で、当社のコア技術である電気伝導率センサを用いて、安定した濃度で透析液の供給が可能となり、全国の透析施設で活躍中。

今回、モデルを一新、「大きさは従来のみで供給能力が大幅にアップ」(50床から70床)し、大規模施設向けにも対応可能。

また、貯留槽に新たな制御方法を採用、透析原液の廃棄低減が可能、環境負荷の少ない設計を実現。



A剤溶解装置 AHI-701  
B剤溶解装置 BHI-701

## (2) 海外展示会への戦略的出展

### ①中国…最大規模の国際環境保護展(CIEPEC 2015)

6月9日から12日まで北京で開催された中国国際環境保護展(CIEPEC 2015)に当社もブースを設け出展。当社の知名度も向上し、主要各都市の環境保護担当者や環境計測器メーカーから当社のVOC計に注目が集まり大盛況、今後の需要拡大に期待。

### ②インドネシア…最大の水・廃水技術に特化した展示会(インドウォーター 5月開催)

### ③マレーシア…アジア最大の石油・ガス展示会(OGA 2015 6月開催)



CIEPEC会場の様子

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞  
東亜ディーケーケー株式会社  
経営企画部 企画・IR課

電話：03-3202-0242  
メール：ir@toadkk.co.jp  
URL：<http://www.toadkk.co.jp/>